

いにしえより大勢の人が往き来してきた上山で「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりに取り組んでいます。



今年で42回を数えるかかし祭は、旧上山農業高校の生徒たちがクラス対抗で実習田に案山子を設置したことが始まりと言われています

(9/15～9/23)

第42回かみのやま温泉全国かかし祭で食の豊かさを情報発信

秋になると河原に出掛け、石積みしたかまどに大鍋をかける。里芋、牛肉、長ネギ等の材料で調理する芋煮は、山形の秋を代表する古里の味。そして、芋煮を楽しんだ後、鍋に残った具で最後に作る『芋煮カレーうどん』は、身近で素朴な秋の河原のソウルフード。9月15日から「第42回かみのやま温泉全国かかし祭」が市民公園で開催されました。上山まちづくり塾のテントでは、地元食材をふんだんに使った芋煮カレーうどんを提供。地域の食の豊かさを大勢の来訪者に情報発信しました。

「芋煮カレーうどん？」と言う方も一口食べると「旨いっ!!」



祭期間中、まちカフェ前にはオリジナルかかし「看板娘～与って気来ッ谢意(よってけらっしやい)」が登場。街角かかしの部で入賞しました



第8回羽州街道交流会～山形県上山大会～

日時: 11/17(土)～11/18(日)

場所: 月岡ホテル

講演: 「沢庵禅師と上山」

講師: 正木 晃氏 (宗教学者)

※テーマ毎に分科会を開催します

詳細は羽州街道交流会HP

<http://ushukaido.com/>

《最上紅花プロジェクト》

蔵王を借景に今年も咲きそろった最上紅花。来年用の種を確保して活動を終了しました



弁天地内にある旧上山農高実習田跡地で、上山明新館高校の生徒さんたちと《最上紅花プロジェクト》に取り組んでいます。ここ上山も、かつては最上紅花の一大産地で、二日町の八幡神社には今なお「紅花地蔵」が祀られ、紅花が栽培されていた当時は大勢の紅花生産者が参詣し、門前市が立つほどの賑わいだったと伝えられています。初夏の風に揺れる最上紅花をもう一度、花咲かせようと取り組んでいる《最上紅花プロジェクト》は5年目の活動を終了しました。

《食用ほおずきプロジェクト》

甘酸っぱい秋の味。上山産食用ほおずきが収穫期を迎えています



『ゆかたの似合うまちづくり』を盛り上げようと、ゆかたに似合うアイテムとして取り組んでいる《食用ほおずきプロジェクト》。「ゆかた」と「ほおずき」は、日本の夏を代表するキーワード。上山明新館高校の生徒さんたちと連携を図りながら地域資源に磨きをかける取り組みが続いています。